



次世代選手育成へ 沖縄ウィメンズと 三幸学園協定締結

琉球ダイゴスを運営する沖縄ウィメンズスポーツクラブと県内で専門学校などを運営する三幸学園(東京都)が18日、次世代アスリートの育成を推進する包括連携協定を締結した。県内の子どもや学生のスポーツを通じた心身の健全育成や、地域に根ざしたアスリート育成モデルの構築がねらい。

同クラブは2034年に沖縄で開催する「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」で活躍する、次世代アスリートを発掘・育成する「沖縄ジュニアアスリートプロジェクト」を県から受託している。同学園は同プロジェクトの会場提供や運営ボランティアの派遣で協力する。学生のインターンシップ派遣や琉球ダイゴスのホームゲームやイベントで連携・協力する予定。同クラブの岩井香寿美取締役は「スポーツを仕事や将来につなげる上で、今回の産学連携の取り組みが新しい仕組みづくりにつながる」と語った。同学園の森岡孝之理事は「ダイレクトに沖縄のスポーツ振興に関わるのは初めて。協力したい」と話した。

運営ボランティアで参加する、同学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校2年の吉田光佑さんは「スポーツを楽しむ子どもが増えればうれしい」、1年の砂川章也さんは「指導力をつけ沖縄のスポーツに貢献したい」と意気込んだ。

(高橋夏帆)

協定を締結した沖縄ウィメンズスポーツクラブの岩井香寿美取締役(左から2人目)と三幸学園の森岡孝之理事(同3人目) 18日、那覇市の沖縄みらいAI&IT専門学校